

3. 産業財産権

3.1 取得産業財産権

No.	区分	特許権等の名称	特許等登録番号	登録年月日	存続期間	発明（考案）者	内 容
1	外国特許	結晶化ガラスの製造方法	米国特許 第 5203901 号	1993. 4. 20	1993. 4. 20 ∧ 2010. 4. 20	鈴木 蕃 月島機械(株)	下水汚泥焼却灰を原料に、天然の御影石又は大理石より優れた特性を備えた結晶化ガラスを製造する方法
2	国内特許	めっき老化液中の次亜りん酸イオンの処理方法	特許 第 2603895 号	9. 1. 29	H4. 10. 28 ∧ H24. 10. 28	東 邦彦 大塚健治	従来は処理が困難であっためっき老化液中の次亜りん酸の処理を、処理薬品を必要としない光触媒反応によって効果的に処理する方法
3	"	振動・液圧絞り加工方法および装置	特許 第 2611120 号	9. 2. 27	H5. 6. 7 ∧ H25. 6. 7	片岡征二 加藤光吉 中田高志 菅野恵介 並木喜正	振動と低圧の液圧を複合作用させることによって、材料の絞り加工性を高めることができる加工法
4	"	リンキングにおける付属編地供給装置	特許 第 2756758 号	10. 3. 13	H6. 7. 22 ∧ H26. 7. 22	池上夏樹	リンキングにおいて、位置決め装置に付属編地供給装置を装着することにより、付属編地の収納、供給、把持を可能とし、付属編地のポイント針への目刺しを自動化する装置
5	"	結晶化ガラスの製造方法	特許 第 2775525 号	10. 5. 1	H2. 12. 25 ∧ H22. 12. 25	鈴木 蕃 月島機械(株)	下水汚泥焼却灰を原料に、天然の御影石又は大理石より優れた特性を備えた結晶化ガラスを製造する方法
6	"	ゾルーゲル法を用いたセラミックス上へのめっき方法	特許 第 2818717 号	10. 8. 21	H4. 9. 5 ∧ H24. 9. 5	斎藤いほえ 水元和成 古澤寛子 セテック(株)	セラミックスの表面に、ゾルーゲル法により二酸化珪素の膜を生成させ、その膜をアルカリ溶液で処理後、無電解めっきを行う方法
7	"	硫酸処理遷移金属酸化物触媒によるオレフィン系悪臭ガスの処理方法	特許 第 2836008 号	10. 10. 9	H6. 3. 24 ∧ H26. 3. 24	山本 真	硫酸を吸着させて処理した遷移金属酸化物の触媒によって、悪臭、有害なオレフィン系排ガスを処理する方法
8	"	硫酸処理草炭によるアミン系悪臭ガスの処理方法	特許 第 2881679 号	11. 2. 5	H6. 3. 30 ∧ H26. 3. 30	山本 真	硫酸を吸着させた草炭によって、悪臭、有害なアミン系排ガスを処理する方法
9	"	昇華熱転写による絹織物のプリント加工方法	特許 第 3048314 号	12. 3. 24	H7. 2. 24 ∧ H27. 2. 24	藤代 敏	エポキシ化合物等の樹脂液を絹織物に含浸させた後、分散染料を含むインクで印刷した転写紙と重ねて熱転写プリントをすることにより、プリント加工と仕上加工が同時に行える
10	"	絹フィブロインによる木材の改質法	特許 第 3052178 号	12. 4. 7	H6. 10. 1 ∧ H26. 10. 1	島田勝廣 瓦田研介	木材に絹フィブロインの水溶液を浸透又は塗布して硬化させ、絹フィブロインと木材を複合化し、これを染色することからなる木材の改質法
11	"	べつ甲基材の再生製造方法	特許 第 3062813 号	12. 5. 12	H10. 8. 21 ∧ H30. 8. 21	横澤佑治 今津好昭 金谷公彦 浅見淳一 廣瀬徳豊	従来廃棄していた製造工程中に発生するべつ甲基材を再生し、有効利用するようにしたもの

No.	区分	特許権等の名称	特許等登録番号	登録年月日	存続期間	発明（考案）者	内 容
12	"	パラジウムを担持した固定光触媒、めっき廃液中の有機物の処理方法および処理装置	特許 第 3082036 号	12. 6. 30	H10. 7. 15 } H30. 7. 15	東 邦彦 小坂幸夫 大塚健治 上部隆男	めっき廃液中の有機物を酸化分解する方法で、固定光触媒と紫外線によって短時間に効率よく分解させ、スラッジの減量化と連続処理を可能とするめっき廃液処理方法
13	"	球状成型用凹凸金型盤による網目構造の球状繊維成型物及びその製造方法	特許 第 3082911 号	12. 6. 30	H9. 9. 1 } H29. 9. 1	樋口明久	種々の繊維に低融点繊維を均等に混合し、球状に加熱加圧して得られた繊維成型物で、クッション性・微生物固着性・悪臭吸着性などに優れている
14	"	放射温度計	特許 第 3103338 号	12. 8. 25	H10. 8. 10 } H30. 8. 10	林 国洋 長尾善之 フジトク（株） 古河機械金属(株)	物体表面から出る赤外線、特に 120℃以下の低温度領域をセンサーで検知し、物体に非接触で温度を測定する温度計
15	"	交流用LED点灯回路	特許 第 3122870 号	12. 10. 27	H6. 11. 21 } H26. 11. 21	上野武司 吉田裕道 宮島良一 佐藤正利	電源電圧及び周波数の変動に対し、明るさの変動が少なく、ちらつきの少ない交流用LED点灯回路
16	"	金型処理法	特許 第 3165896 号	13. 3. 9	H3. 10. 24 } H23. 10. 24	村田裕滋 同和鋳業(株)	金型の表面にめっき熱拡散処理を施すことにより、難加工材のプレス加工性と最適な金型を提供する
17	"	電気ニッケルめっき浴	特許 第 3261676 号	13. 12. 21	H11. 12. 16 } H31. 12. 16	土井 正 水元和成 茅島正資 田中慎一	めっき排水中のほう酸やほう素の除去処理を行わなくてもよい、ほう酸を使用しないめっき浴で、緻密で欠陥の少ないニッケルめっき皮膜が得られる電気ニッケルめっき浴
18	"	湿度センサ	特許 第 3284329 号	14. 3. 8	H7. 8. 30 } H27. 8. 30	大森 学	高速度、高精度測定を可能とするデジタル化した湿度センサ
19	"	塩類濃度の高い排水中のほう素除去方法	特許 第 3284347 号	14. 3. 8	H12. 2. 15 } H32. 2. 15	東 邦彦 大塚健治	産業廃棄物処分場等で大量に排出される、塩類濃度の高い排水中に含まれるほう素を、低コストで効率的に除去する方法
20	"	コンピュータシステムの故障検知方法	特許 第 3326546 号	14. 7. 12	H7. 11. 15 } H27. 11. 15	坂巻佳壽美	コンピュータシステムの故障を自動的に検知し、システムの信頼性を向上させる方法
21	"	レーザ溶射法による高耐食性改質層の作製方法	特許 第 3354377 号	14. 9. 27	H8. 3. 5 } H28. 3. 5	一色洋二 藤木 栄	レーザ溶射法を利用した、鉄鋼材料表面の耐食性の改善
22	"	めっき排水中のほう素の除去方法	特許 第 3360255 号	14. 10. 18	H11. 8. 16 } H31. 8. 16	東 邦彦 大塚健治	めっき排水中に含まれるほう素を効率よく、かつ十分に除去することができる新たな処理方法
23	"	重水素の濃縮方法及び装置	特許 第 3406390 号	15. 3. 7	H6. 7. 8 } H26. 7. 8	斎藤正明 ペルメレック 電極(株)	原子力・放射線施設の安全性の判断、地下水系の測定等の指標として利用されている天然水中の重水素の分析に必須な濃縮方法とその装置
24	"	火山灰を利用した構造用素材及びその製造方法	特許 第 3488438 号	15. 10. 31	H13. 3. 22 } H33. 3. 22	片岡征二 基 昭夫 佐々木武三 他 大阪富士工業(株) サンコーテクノ(株)	木質材、金属、セラミックスなどの基材の表面に、金属やセラミックスを溶射して下盛りし、その上に火山灰を溶射することにより製造される、セラミックスタイルの外観を呈する構造用素材の製造方法。
25	"	ポリオレフィン系プラスチック廃棄物からの液体燃料回収方法	特許 第 3520505 号	16. 2. 13	H9. 4. 16 } H29. 4. 16	山本 真 中澤 敏	ポリオレフィン系プラスチック廃棄物を、重油中固体触媒剤を使用して常圧で熱分解し、ガソリン、灯油等の軽質留分を生成しないで液体燃料を高収率で回収する方法

No.	区分	特許権等の名称	特許等登録番号	登録年月日	存続期間	発明(考案)者	内 容
26	"	放射性核種吸収体とこれを用いた放射性核種の濃度測定法	特許 第 3559727 号	16. 5. 28	H11. 7. 12 H31. 7. 12	斎藤正明	簡易で安全な放射能測定を実現するため、シンチレータと溶解しやすい発泡ポリスチレンを放射性気体の吸収材として一定に規格化し、この吸収材を用いて放射能を測定する方法
27	"	E M I プローブ	特許 第 3590932 号	16. 9. 3	H12. 8. 15 H32. 8. 15	大森 学 山田万寿雄	電子機器から放射されるノイズ(放射電磁界)を3つの検出面を同軸上に互いに60度の角度で配置したE M I プローブを用いて三次元方向の感度特性で検出するため、ノイズ源を高確度かつ迅速に探索できる。
28	"	フミン酸の改質による吸水性材料の製造方法	特許 第 3612659 号	16. 11. 5	H9. 4. 16 H29. 4. 16	山本 真敏 中澤 敏	草炭からアルカリ抽出したフミン酸に、アクリロニトリルをグラフト重合させたのち加水分解させることを特徴とする吸水性材料の製造方法
29	"	電解用活性陰極およびその製造方法	特許 第 3624394 号	16. 12. 10	H10. 12. 7 H30. 12. 7	田中 真一 他	水溶液の電気分解による生産過程での電力使用量の低減を可能とした電極の製法
30	"	プローブカードの製造方法	特許 第 3648527 号	17. 2. 25	H13. 2. 28 H33. 2. 28	加沢エリト 他 上野武司 東京カソード 研究所	プローブに相当する微細な溝を形成し、その溝を鋳型として無電解メッキなどの方法により導電性プローブを作る。
31	"	分解性高分子化合物	特許 第 3660941 号	17. 4. 1	H12. 12. 15 H32. 12. 15	篠田 勉	連鎖的に分解して再利用できるプラスチック及びその分解方法に関するもの
32	"	摺動性材料及びその製造方法	特許 第 3719847 号	17. 9. 16	H10. 4. 24 H30. 4. 24	三尾 淳 仁平 宣弘	チタン表面層にイオン注入法で塩素を添加することにより、潤滑材を使用しなくても低摩擦指数かつ耐磨耗性に優れた新しい硬質材料及びその製造方法
33	"	重水素の濃縮度算出決定装置	特許 第 3749304 号	17. 12. 9	H8. 12. 9 H28. 12. 9	斎藤 正明	天然水中のトリチウムの分析に不可欠な濃縮法で、従来の方法と比較して測定作業を簡易化したうえ、正確な重水素濃縮度を算出する方法及び装置
34	"	漆および植物繊維を用いた成形用材料、前記成形用材料を用いて得られる漆/植物繊維成形体	特許 第 3779290 号	18. 3. 10	H15. 9. 16 H35. 9. 16	木下稔夫 上野博志 瓦田研介 (補)田島漆店	漆と植物繊維を混合して漆を植物繊維に含浸させたのち加熱して粉末化成用材料及びこの材料を金型で加熱圧縮成形した成形体

3.2 出願中特許権

No.	出願番号	出願年月日	名 称	発明者	内 容
1	9-215532	9. 7. 25	化学発光体	山本哲雄 他 2名	化学発光現象を生じる2種の溶液から構成された化学発光体に、蓄光材料を添加することによって、発光量を著しく向上させた化学発光体
2	9-287619	9. 10. 6	古紙を原料とする活性炭およびその製造方法	島田勝広 他 2名	古紙を原料として用い、既存の活性炭と同等の吸着性能を有する活性炭及びその製造方法
3	10-66426	10. 3. 17	超音波震動付加型摩擦試験機	片岡征二 他 5名	一般的な汎用摩擦試験機に超音波震動装置を組み込み、摩擦低減に対する超音波震動付加の効果をもっと簡単に試験できる摩擦試験機
4	11-135427	11. 5. 17	耐摩耗性クラッド板の製造方法	佐藤健二 他 1名	耐摩耗性粒子に金属めっきを行い、アルミニウム合金カプセルに封入して鋳型底面近傍に並べて設置し、母材金属溶湯を鋳型底面から流れるように鋳込み、鋳造により製造する方法
5	11-215701	11. 6. 25	電波吸収硬化体及びその製造方法	大森 学 他 2名	従来の電波吸収硬化体に比べ製造工程を大幅に簡易化し、焼結することなく乾燥あるいは加圧・加熱する硬化工程のみで、しかも任意の形状に製造できる電波吸収硬化体及びその製造方法
6	11-238157	11. 8. 25	焼結体及び焼結体の製造方法	小山秀美 他 1名	ガラスカレットに下水汚泥スラグ等を混合したものを、従来の方法に比べ比較的低温で焼成して製造した、土木建築用資材等に利用できる焼結体及びその製造方法
7	11-325903	11. 10. 12	表面プラズモン共鳴センサ	上野武司 他 3名	光の波長又は光の入射角度を変化させることにより生じる表面プラズモン共鳴現象を利用し、物質の濃度あるいは物質の識別に用いられる、コンパクトで良好な感度を有するセンサ
8	11-306337	11. 10. 28	アルミニウムと銅の接合方法	佐藤健二 他 1名	あらかじめ銅又は銅合金の接合面にめっき加工してこれを鋳型内に配置し、溶解したアルミニウム又はアルミニウム合金をこの鋳型内に注入して大気中で鋳込むことを特徴とする接合方法
9	11-334351	11. 11. 25	ボルト、ナット締結部の構造	清水秀紀 他 3名	一般に流通しているボルト、ナットの締結部に装着することにより、市販されている工具等では取り外すことができないようにし、セキュリティ的機能を持たせた構造物
10	2000-8551	12. 1. 18	ブラシ	木下稔夫 他 2名	ブラシ本来の機能を失うことなく毛束部の含浸保水能力を著しく向上させ、従来不可能であった低粘度塗料の塗布を可能にしたブラシ
11	2000-83692	12. 3. 24	汎用計測装置	林 国洋 他 2名	センサからの電気信号を計測対象の物理量に変換する機能を有しており、1つの計測機器でセンサを交換することにより、熱、荷重、流速等の種々の計測を可能にする
12	2000-242388	12. 8. 10	流体軸受の動圧発生溝加工工具、およびこれに使用する加工ボール	三尾 淳 他 1名	ハードディスクなどの補助記憶装置の軸受部に使用されている流体軸受にある動圧発生溝を加工する際に、加工ボールの表面に塩素イオン注入層を形成して摩擦を低減させ、高い加工精度を維持する
13	2000-285609	12. 9. 20	電動自転車及びその走行制御方法	三上和正 他 2名	電動自動走行モードと電動補助走行モードをスイッチで任意に切り換えることができる電動自転車及びその走行制御方法で、使用者がその場の状況に応じた走行方法を選択できる
14	2001-8685	13. 1. 17	三宅島火山灰を用いた着色ガラスの製造方法	鈴木 蕃 他 4名	一般的なソーダ石灰ガラスの原料に、重量割合で2～50%の三宅島火山灰を配合することにより、清澄剤を使わなくてもガラス中に気泡が残留せず、また、着色剤を使用することなく美しい青色に発色する高品質の着色ガラスが製造できる

No.	出願番号	出願年月日	名 称	発明者	内 容
15	2001-24203	13. 1. 31	工作物に穴を形成する放電加工方法	山崎 実 森 紀年	直径数十ミクロンというような微細な穴あけに関する技術で、穿孔する穴径より太い電極を用い、電極を+、加工物を-にし、電極を回転させながら送りつつ放電加工を行うと、電極の外周部が消耗しながら微細な穴が形成できる
16	2001-024519	13. 1. 31	締結体締付け力安定化剤、これを用いた締付け力安定化法、安定化剤を付着した締結体構成部品	石田直洋 他 2名	ブテンやイソブテン等の不飽和炭化水素の重合体からなる安定化剤を締結部に付着させることよってトルク係数のバラツキを抑え、安定した締付け力を得る。
17	2001-120352	13. 3. 15	LED及び電球を使用した信号灯及び照明灯の断線検出装置	宮島良一	交流電源で点灯するLED及び電球を使用した信号灯や照明灯が断線したときに、その状況を自動的に検出する装置。これまでは、電源電圧の不安定さにより正確に検出できず、検出回路も大型であったが、小型で安定した検出ができる
18	2001-230595	13. 6. 25	火山灰とガラスからのゼオライト製造方法と連続反応装置	大久保一宏 他 5名	火山灰とガラスをアルカリ溶液と混合し、加熱とマイクロ波照射を併用することによりゼオライト化を促進させ、陽イオン交換容量及び吸着能力を向上させるための方法と装置
19	2001-276413	13. 9. 12	草炭を原料とする吸水材(吸水性材料、吸水性材料の製造方法、吸水材)	山本 真 他 1名	草炭にアクリロニトリルをグラフト重合させたのち加水分解させて製造する高吸水性材料。
20	2001-392816	13. 11. 20	デジタル回路実験・実習遠隔教育システム	森 久直 他 3名	デジタル回路に関する実験・実習を回路を通じて行なえるようにした遠隔教育システム
21	2002-138469	14. 5. 1	プラスチック吸収型ラドン測定装置(ラドン等の放射性核種の濃度測定方法とこの方法に用いる装置)	斎藤正明	遮光したチャンパー内にプラスチックシンチレータ及び光電子増倍管を対面配置し、チャンパー内に連続的に流入させた試料水又は試料空気に含まれるラドンをシンチレータに吸収させる。ラドンの放射線エネルギーでシンチレータの蛍光剤が発光し、その回数を増倍管で計数する。
22	2002-106827	14. 4. 9	三次元座標測定機の性能評価方法及び三次元座標測定機校正用ゲージ(多次元座標測定機の性能評価方法、多次元座標測定機の校正用ゲージ及び校正用ゲージの治具)	澤近洋史 他 3名	反転法を利用して被測定物を多次元で測定するため、三次元座標測定機において、スケール誤差、真直度、及び直角度を容易に評価するための方法及び校正用ゲージ
23	2002-247500	14. 8. 27	ダイヤモンドドライカーボン膜(DLC膜)の密着性向上法	片岡征二 他 8名	DLC膜を基材と密着させるための基材の加工方法と中間膜の使用
24	2002-312841	14. 10. 28	加工穴を利用した電極成形法(放電加工による素材の成形方法及びその装置)	山崎 実 他 2名	放電加工により一度開けた穴を利用して、直径数 μ mの細い電極や断面形状の複雑な電極を容易に作るができる。
25	2003-144203	15. 5. 22	微生物群の活性状態評価方法(微生物群の活性状態の評価方法及び微生物活性センサ)	伊東洋一 他 5名	生分解性高分子材料のインキ又は塗料を用いて印刷・塗装技術により生分解性高分子膜を形成し、膜の色彩変化から微生物の活性状態を評価する。
26	2003-025464	15. 2. 3	水素吸蔵合金の製造方法及び当該製造方法により得られた水素吸蔵合金	三尾 淳 他 2名	水素ガスを吸収貯蔵する機能をもつ「チタン-鉄系合金」を低コストで簡単に製造する方法で、機械的に合金を作る「メカニカルアロイング法」を最適化することにより、それを実現した。
27	2003-123418	15. 4. 28	ドライ切削(乾式切削)用のイオン注入工具およびその製造方法およびその高快削工法(高速加工工具)	三尾 淳 他 1名	金属の切削加工において切削油を使用せずに高速加工するドライ切削用の工具を、イオン注入法により製作する。
28	2003-116330	15. 3. 18	電動自転車用電源供給装置	三上和正 小林丈士	電動自転車の始動時にバッテリーからモータに流れる大きな電流を制限し、必要な電流を補助電源である「電気二重層コンデンサ」から供給することによりバッテリーの長寿命化を図る
29	2004-126309	16. 4. 22	LED駆動回路	宮島良一 小林丈士	LEDを用いた照明器具に使われる10ワット以上の高電圧大電流LEDを商用電源で使用できるようにするための電気回路に関するもの

No.	出願番号	出願年月日	名 称	発明者	内 容
30	JP2004/9019	16. 6. 25	LED駆動回路	宮島良一 小林丈士	LEDを用いた照明器具に使われる10ワット以上の高電圧大電流LEDを商用電源で使用できるようにするための電気回路に関するもの
31	2003-412537	15. 11. 7	固体撮像素子を用いた電子シャッター式カメラ用照明装置（CCDカメラ用LED照明装置）	大畑敏美 他 1名	CCDを用いた電子シャッター方式カメラ用の証明装置に関する発明で、露光時だけ照明するようにしたことにより、小型・小エネルギー型の照明装置を開発した。
32	2003-313107	15. 9. 4	セラミック材の切削方法及び切削装置	森俊道 他 2名	セラミックにレーザーを照射して加熱し軟化したところを切削加工する方法
33	2003-436038	15. 11. 28	ノイズ測定用多素子アンテナ	寺井幸雄 他 2名	屋外の都市空間ノイズを高感度に測定するための片手で持ち運びできる小型アンテナに関するもの
34	2004-035330	16. 2. 12	水素吸蔵合金の製造方法及び当該製造方法により得られる水素吸蔵合金粉末	内田聡 他 2名	鉄とチタンを主成分とする金属原料を機械的合金化処理を行い、100℃～300℃で熱処理することを特徴とする水素吸蔵合金製造方法
35	2004-035337	16. 2. 12	水素吸蔵合金粉末	内田聡 他 2名	鉄とチタンを主成分とする金属原料粉末をボールミリングすることにより得られる水素吸蔵合金粉末
36	2004-36734	16. 2. 13	母材表面の下地処理方法及びこの方法により下地処理された表面を持つ母材及び製品	片岡征二 他 3名	プレス用金型や機械部品の摩擦面などにおける摩擦特性を改善し、DLC膜を強固に密着させる加工方法
37	2004-165115	16. 5. 7	骨塩量測定装置	鈴木隆司 他 1名	X線を被検体に照射してその透過量から骨密度を求める骨塩量測定装置に関するもの
38	2004-177562	16. 6. 15	立体製織体、金属繊維立体製織体及びそれらの製造方法	樋口明久 吉野 学	立体製織体、金属繊維立体製織体の製造方法製織繊維の一部を屈曲させ立体製織体を得るための構造及び製法の改良に関するもの
39	2004-314637	16. 10. 28	ダイヤモンドの研磨方法及び装置	横沢 毅 他 3名	超音波で振動しているステンレス工具をダイヤモンドの表面に押しあてることにより、ダイヤモンドを研磨する方法
40	2004-340549	16. 11. 25	マルチX線の発生方法及びその装置	鈴木隆司	1種類以上の金属元素からなねフィルターを用いて、X線発生装置から出る連続X線を単色X線又は2本以上のマルチX線にする方法及び装置に関するもの
41	2004-361613	16. 12. 14	プロット型自動植毛装置(静電植毛装置)	山本克美 他 3名	画像データに基づいて単純なデザインはもとより複雑なデザインであってもそのたびごとに版下を作成しなくても静電植毛を行う
42	2005-48669	17. 2. 24	放電加工における高精度微細成形法	山崎 実 鈴木岳美	放電加工法により任意の微細軸を高精度で成形する方法に関するもの
43	2005-94574	17. 3. 29	ホウ珪酸塩系無鉛低融点ガラスフリットの作製方法(無鉛硼珪酸塩ガラスフリット及びそのガラスペースト)	田中実 上部隆男 他 1名	鉛加工物を用いずに、ホウ珪酸塩系ガラス原料を利用して580℃以下の温度でガラス基板等への焼付けができる実用的な低融点無鉛ガラスフリットに関するもの
44	2005-104899	17. 3. 31	発泡ポリスチレンを利用する有機汚染水の浄化法(流体の浄化方法)	斎藤正明	流体(液体又は気体)の浄化方法に関するもの。流体中に存在する被除去有機成分をポリマー発泡体の内部に取り込む
45	2005-40494	17. 2. 17	有機ハロゲン化合物の分析用前処理キット及び有機ハロゲン化合物の分析方法	野々村誠 栗田恵子 阪口 慶 他 1名	有機ハロゲン化合物を簡便、迅速、高感度、高精度で測定可能な分析用前処理キット及び有機ハロゲン化合物の分析方法に関するもの
46	2005-16154	17. 1. 24	カーボンオニオンの製造方法	基 昭夫 他 7名	容易な技術で、従来の方法に比べて簡便でかつ安易にカーボンオニオンを製造することができる実用的な方法を提供すること
47	2005-78679	17. 3. 18	微小流路、その製造方法及び用途	伊東洋一 島田勝広 上野博志 他 1名	強度が十分で有機溶剤等に対して溶解や溶出のない微小流路の製造方法、その流路を用いた反応等に悪影響を与えないマイクロリアクターを提供する
48	2005-104243	17. 3. 31	皮革のプリント方法	吉田 弥生 池田 善光 古田 博一	反応染料を用いたプリントで、樹脂被膜によらない堅牢度の良好な皮革の染色方法

No.	出願番号	出願年月日	名 称	発明者	内 容
49	2005-114097	17. 4. 12	高エネルギーイオン照射による超高分子量ポリエチレンの表面改質法およびこの表面改質法を用いて改質された超高分子量ポリエチレン	谷口 昌平	人工関節などに用いられる超高分子量ポリエチレンの低ポリエチレンの低摩擦化、耐磨耗性の向上を目的としている。
50	2005-153290	17. 4. 27	赤外線追尾装置	大畑敏美	パソコンや携帯電話に使われている赤外線通信技術を活用し、通信信号に新たに提案する振幅変調信号を付加することで、通信可能範囲や距離を感知し、信号発生方向に自動追尾する装置
51	2005-226475	17. 8. 4	放射線廃棄物の処理方法及びその焼結体	小山秀美 他 1名	低濃度放射線物質を含有する廃棄物の処分を行うにあたり、発生した排気物の減容化だけでなく安全性、安定性や取り扱いやすさを画期的に向上させる技術
52	2005-234849	17. 8. 12	放射線照射判別方法及び放射線照射判別システム	後藤典子 他 山崎正夫 他 2名	食品や生薬に対する放射線照射の有無の判別を行うシステムと方法に関するもの
53	2005-271060	17. 9. 16	ネットワーク機器試験装置	坂巻佳壽美 他 乾 剛 他 3名	通信メディアチップを直接FPGAの回路により制御することにより、高速な試験を行う。ハッシュ関数をパケットの一部検出に用いることで高速なフィルタリング試験を実現する。
54	2005-292828	17. 10. 5	粗紡機	樋口明久 他 1名	繊維相互の抱合力が強い綿、麻、毛など紡績に適した繊維を原料の段階で混用せず、繊維相互の抱合力の弱い繊維100%の粗紡糸からなり、その繊維の特性が損なわれない。
55	2005-363983	17. 11. 20	草炭からの土壌改良材およびこれを用いた植物成長方法	山本 真 他 陸井史子 他 1名	草炭を改質して作製した吸水性材料や微生物資材等を草炭に配合して作製した緑化用土壌の土壌改良材に関するもの
56	2005-356870	17. 12. 9	CRC値の算出装置	坂巻佳壽美 他 乾 剛 他 高山匡正 他 3名	誤り検出方式の一つである。簡易なハードウェアにおいて実現できる。シリアル伝送路における誤り検査等に広く用いられる。回路規模の増大を極力抑え回路の高速化を実現した。
57	2006-003612	18. 1. 11	固体高分子電解質形燃料電池用の膜/電極接合体、その製造方法、および前記膜/電極接合体を用いた固体高分子電解質形燃料電池	上野博志 他 1名	燃料電池発電部の膜電極接合体の作製に際し、アニオン交換樹脂を配合法、被覆法やスプレー法により白金-カーボン触媒に添加してカソードを作製した。触媒粒子の表面が大きくなり発電効率が向上した。
58	2006-052500	18. 2. 28	高速パターンマッチング装置の探索方法	坂巻佳壽美 他 乾 剛 他 高山匡正 他 2名	バイナリサーチ方式の高速化に関する装置である。メモリ階層構造を有効に活用しコストを抑えながら高速化を図ることができる。
59	2006-71794	18. 3. 15	鉄スクラップからのリサイクル圧延鋼材の粒界浸潤性の評価および制御方法	上本道久	鉄スクラップからの圧延鋼材のリサイクル技術に関するもの。圧延鋼材の表面における粒界浸潤性の評価方法ならびにこれに基づくスクラップ鋼材の圧延処理方法
60	2006-83377	18. 3. 24	自動分析装置に用いる検量線作成用化合物	上野博志 他 4名	有機系廃棄物や汚染土壌等の安全性に対応するため、それらに含まれるハロゲンや硫黄を定量分析する方法

3.3 産業財産権総括

国内	特 許		実 用 新 案		計
	設定登録	出願中	設定登録	出願中	
	33	59	0	0	92
国外	特 許		実 用 新 案		計
	設定登録	出願中	設定登録	出願中	
	1	1	0	0	2
合 計					94

3.4 実施許諾

項目	発明等の名称	許諾先名称
特 許 権	結晶化ガラスの製造方法	月島機械株式会社
	重水素の濃縮方法及び装置	ペルメレック電極株式会社
	超音波震動付加型摩擦試験機	神鋼造機株式会社
	球状成型用凹凸金型盤による編目構造の球状繊維成型物及びその製造方法	株式会社ロキテクノ 株式会社セキネ ジャパン・プラス株式会社 丸新フェルト紡織株式会社 株式会社御美商 株式会社アックス
	昇華熱転写による絹織物のプリント加工方法	株式会社東匠猪俣
	締結体締付け力安定化剤、これを用いた締付け力、安定化法、安定化剤を付着した締結体構成部品	株式会社東日製作所
	放射性核種吸収体とこれを用いた放射性核種の濃度測定法	株式会社共立理化学研究所
	電気ニッケルめっき浴	株式会社金属化工技術研究所
	電動自転車及びその走行制御方法	株式会社日本サイクリングシステムズ
	三宅島火山灰を用いた着色ガラスの製造方法	三晃硝子工業株式会社
	交流用LED点灯回路	株式会社ルミナス 株式会社アートレーザー技研
	放電加工による素材の成形方法及びその装置	株式会社東京ダイス
	固体撮像素子を用いた電子シャッター方式カメラ用照明装置及び動画の撮影方法	株式会社フジタジャパン
	ダイヤモンドライクカーボン膜のコーティング方法および塑性加工用金型	山陽プレス工業株式会社

3.5 著作権の許諾

当所発行著作物記事について記載の申請があったので許諾した。

著作物	記載先	許諾先
東京都立産業技術研究所 研究報告 第8号 19 ページから 22 ページ	月刊誌 『鍍金の世界』	日本鍍金材料協同組合
東京都立繊維工業試験場発行の繊維技術 ハンドブック [素材・織物・ニットの基礎知識] 85 ページから 96 ページ中の図	特許庁より委託され作成する 「標準技術集－伝統的繊維製 品」	JFE テクノリサーチ 株式会社